



秋田県第3区
総支部号外版
令和5年12月19日

連絡先:国民民主党秋田県第3区総支部
〒015-0875 秋田県由利本荘市砂子下113-9
TEL: 0184-22-8430 / FAX: 0184-22-8151
HP: https://muraokatoshihide.com/



発行: 国民民主党 国民民主PRESS編集部 〒100-0014 東京都千代田区永田町2-17-17 JBS永田町 / TEL: 03-3593-6229 / HP: new-kokumin.jp / 通常号 定価1部200円(税込)・年間購読料1,000円(送料含む) 隔月第4金曜日(偶数月)発行

村岡敏英氏を公認決定

秋田県 第三区 総支部代表へ

〔秋田〕玉木雄一郎代表(衆議院議員)は十月七日、秋田県湯沢市内で開催された村岡敏英氏の次期衆院選秋田3区での公認発表と同時に国民民主党秋田県第三区総支部代表就任の記者会見に同席した。

玉木代表は、「昨年の参院選では村岡さんを推薦という形だったが、今回は本人を含めて調整の上、来る衆院選での公認決定に至った」と報告。また、村岡候補予定者については「見識、人柄、能力、どれも国会議員として相応しい。考え方や行動に芯があつてこの国のことを真面目に考えている政治家だ」と評価し、「国内外情勢が大きく変化する中、一日でも早く国政に戻ってきて能力を発揮して頂きたい。党としても全力でバックアップする」と期待を込めた。



村岡敏英候補予定者は「日本の国力は30年間低下し続けている。秋田はその影響が顕著だ。秋田の課題を解決する事が、日本全体の課題を解決する事に繋がる。」と述べ、「対決より解決、国民民主党の一員として政策実現のために取り組んでいきたい。苦杯をなめた経験も含め全てを肥やしにして国政に臨み決意だ。」と衆院選への覚悟を述べた。



秋田・日本再起動重点政策

- 1、給料の上がる経済
人の投資、企業成長、規制改革
- 2、農林水産業政策
農業所得向上、林業水産活性化
- 3、都会・地方の格差解消
脱炭素立派、中小企業支援、地方分権
- 4、子育て・教育政策
教育無償化、給付型奨学金
- 5、医療・介護・年金政策
秋田がんセンター設立、介護・年金制度改革
- 6、総合安全保障
経済、エネルギー、安全保障、動物愛護
- 7、雇用セーフティネット強化
国産の推進、長時間労働の是正
- 8、多様性社会実現
女性活躍秋田、差別解消
- 9、正直な政治
政治資金透明化



街頭演説会



秋田「村岡氏・玉木代表と語る会」に1200人



去る十月七日、秋田県3施設4会場において、「村岡氏・玉木代表と語る会」と「励ます会」が開催され、総勢1200人が参加した。会に先立ち、「村岡敏英波乱万丈の半生」を描いたビデオが放映され、参加者の涙を誘った。そして、玉木ひろしさんらの司会も務める渡辺寛尚氏の進行により、二人は入場を促され開会が宣言された。

国政に必要な人材

玉木代表は、「村岡さんは過去の国会質疑を見て、スキャンダルを取り上げたり、揚げ足を取るといった質問は一度もなく、我々と同じ」対決より解決の姿勢で政策重視の国会論戦を行っていた。そういう意味でも我が党の方針・政策・理念が一致する。こ



の会場の熱気を見ても根強い人気の程がよく分かる。秋田3区で我が党公認候補での出馬予定についても大変力強く思っているし今の国民民主党、国政に必要な人材だ」と話した。

村岡敏英氏の決意

村岡氏は、「食料安全保障の確保や農業所得向上、賃金向上、子育て環境の充実、がんセンター設置などの早急な実現を目指す。疲弊する秋田県を上へ上へと押上げて行きますように」と呼びかけた。



笑いに包まれた対談

初めに二人は奥様との出会いを聞かれると、照れながらもそれぞれ馴れ初めを語り、笑いに包まれた。

次に大河ドラマ視聴の質問に玉木代表は、「どうする家康」も視ているが印象深いものに坂本龍馬を上げ、「歴史

は全般的に興味あるが、小さい頃から考古学者になりたい。」と語っていたと言った。

一方、村岡氏も「大河ドラマから家康に興味を持ち、徳川家康26巻(山岡荘八著)を読破してから、さらに好きになった。順風満帆ではなく波乱万丈の人生に自身をオーバーラップさせる事がある。」と説明。最後に子供を東大に入れるコツを聞かれた玉木代表は、意表をつく質問に困惑しながらも、「親が勉強を強制せず、何事も出来たら褒める事かな。」と答えた。

